

# 平成22年度下半期 財政状況の公表

## 厳しい財政状況の中、計画どおりに事業を執行

平成22年度下半期は、急激な円高等によって景気の回復が足踏み状態となり、歳入の柱となる特別区交付金が減収となるなど、景気の影響を受けた歳入状況となりました。

こうした厳しい状況にあっても歳出面では、区の基本構想が描く「人が輝く いきいき すみだ」の実現をめざし、基本計画事業の着実な推進を

図るとともに、開業を目前に控えた東京スカイツリー®関連事業も推進しました。

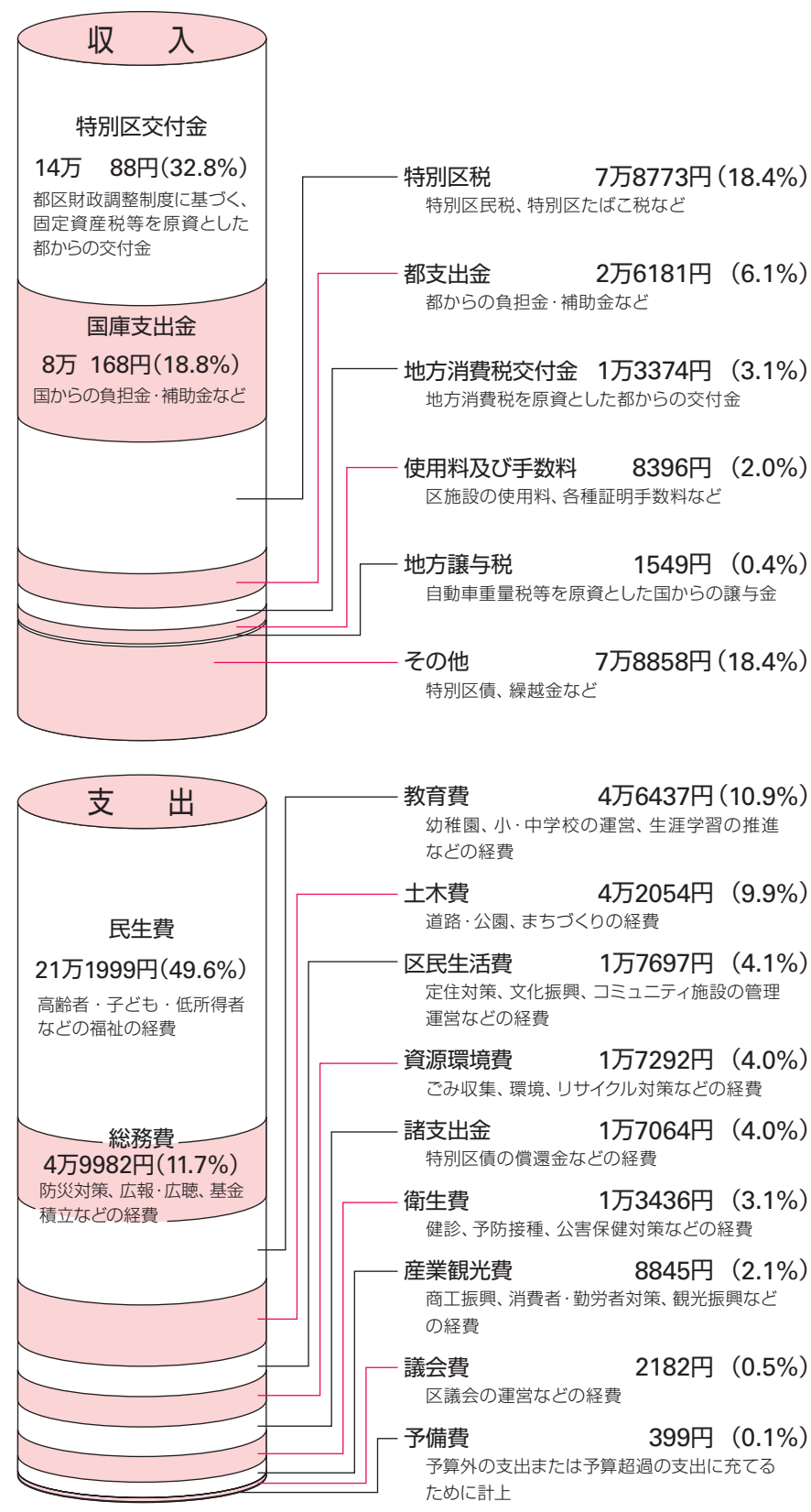
また、学校等の公共施設の耐震化や、保育園の待機児解消、緊急経済・雇用対策など、緊急を要する事業にも積極的に取り組みました。

さらに、不況による生活困窮者対策等に補正予算で対応し、予算に計上した事務事業を計画的・効果的に執行することができました。

## 22年度 区民1人あたりの予算額(一般会計)

1人あたり 42万7387円

一般会計予算額 1070億2414万円 23年4月1日現在の人口 25万 415人



●収入・支出ともに( )内の数字は、一般会計予算額に占める比率です。

## 予算の状況

【一般会計】22年10月1日以降、下表の補正を行った結果、最終予算額は1070億2414万円となりました。

【特別会計】当初予算に必要な補正を行うことにより、最終予算額は、国民健康保険特別会計が286億1664万円、老人保健医療特別会計が1279万円、介護保険特別会計が143億6062万円、後期高齢者医療特別会計が45億7175万円となりました。

### 22年度一般会計予算の主な補正予算

2月補正…27億5974万円の追加	3月補正…1億2500万円の減額
▶財政調整基金積立金追加	▶財政調整基金積立金追加
▶なりひらホーム管理運営委託準備経費	▶減債基金積立金追加
▶生活保護扶助費追加	▶文化観光基金積立金追加
▶(仮称)押上駅前自転車駐車場整備事業費追加	▶北斎館資料取得費追加
▶京成曳舟駅前東地区市街地再開発事業費追加	▶介護保険特別会計繰出金追加
▶過年度国庫支出金等返還金追加 等	▶公園遊具安全管理事業費追加
	▶職員退職手当追加
	▶給与改定に伴う人件費の減額
	▶各種事務事業の不用経費の減額 等

## 収入・支出の概況

23年3月31日現在の22年度各会計の予算現額と収支の状況は、下表のとおりです。一般会計の予算現額に対する執行率は、歳入が83.2%、歳出が83.8%となっています。

なお、事務処理手続等の都合で3月31日までに執行できなかったものについては、出納整理期間(4月1日～5月31日)中に執行しました。

### 22年度予算の収支の状況(23年3月31日現在)

区分	予算現額	収入額	支出額
一般会計	1077億4291万円	896億8685万円(83.2%)	903億2936万円(83.8%)
国民健康保険特別会計	286億1664万円	254億6633万円(89.0%)	241億3004万円(84.3%)
老人保健医療特別会計	1279万円	650万円(50.8%)	650万円(50.8%)
介護保険特別会計	143億6062万円	129億1318万円(89.9%)	130億3580万円(90.8%)
後期高齢者医療特別会計	45億7175万円	44億3341万円(97.0%)	39億4049万円(86.2%)

●予算現額は、最終予算額に21年度からの繰越分を加えたものです。21年度からの繰越額は、一般会計で7億1876万円ありました。  
●収入額・支出額欄の( )内の数字は、それぞれ予算現額に対する割合です。  
●各会計の収入・支出ともに出納整理期間(4月1日～5月31日)中に執行・整理を行い、いずれも予算計上額をほぼ達成しています。

## 区民負担の概況

区の施策を実施するために必要な財源として、区民の皆さんに税や各種使用料、手数料を負担していただいています。このうち、特別区税の予算現額と収入額は下表のとおりです。

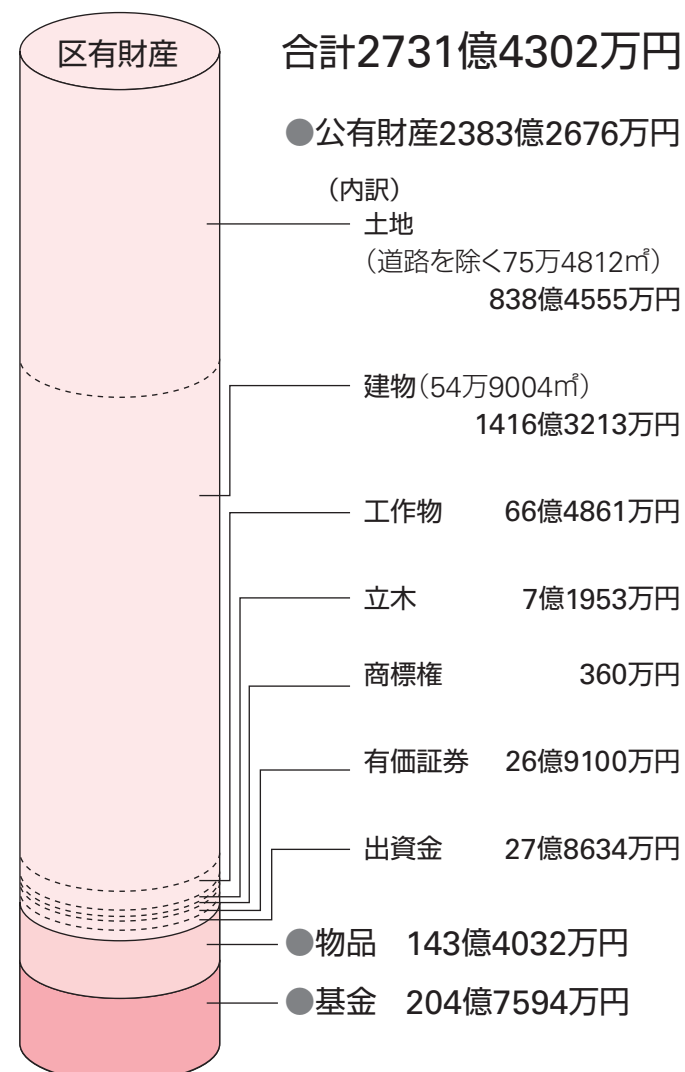
### 22年度特別区税の予算現額と収入額(23年3月31日現在)

内訳	予算現額	収入額	収入率
特別区民税	177億3500万円	158億5532万円	89.4%
軽自動車税	7400万円	7573万円	102.3%
特別区たばこ税	19億8000万円	19億2514万円	100.9%
入湯税	900万円	825万円	91.7%
合計	197億2600万円	178億6444万円	90.6%

●上記の収入額に加え、出納整理期間(4月1日～5月31日)中にも収入がありました。

## 区有財産の現在高

23年3月31日現在の区有財産の現在高は、下のグラフのとおりです。



未来のすみだを担う子どもたちの笑顔のために

## 一時借入金

一時借入金とは、収入と支出の時期の違いにより、事務事業を執行するうえで一時的に資金が不足する場合に、年度内償還を条件として市中銀行などから借り入れる資金のことです。区は22年度中、この借入れを行う必要がありませんでした。

## 区政の課題解決に果敢に取り組みます

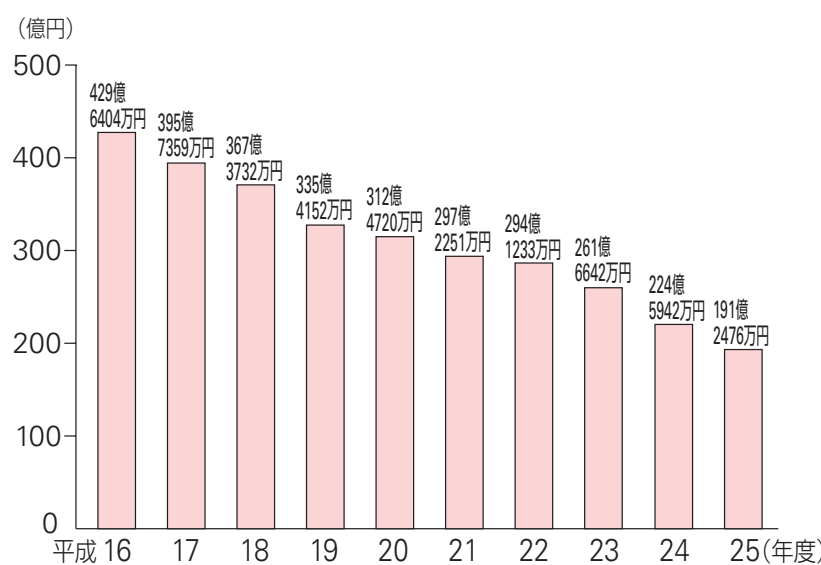
23年度予算では、緊急経済・雇用対策に取り組むとともに、基本計画事業を着実に推進することとしています。特に公共施設の耐震化や、保育園の待機児解消、高齢者の見守り対策などは、緊急かつ優先的に実施することとしています。また、東京スカイツリーの開業を見据え、観光まちづくりや商業活性化等、国際観

光都市の実現に向けた戦略的な事業にも取り組むこととしています。さらに、様々な行政課題に適切に対応するため、行財政改革も引き続き推進してまいります。3月に起きた東日本大震災により、本区の財政にも影響が生じると考えられますが、区民の皆さんへの施策に影響が及ばないように努めるとともに、安全で安心なまちづくりに、より一層取り組んでまいりますので、ご理解をお願いします。

## 公債の発行残高

学校施設の改築や、まちづくり事業などの公共施設の整備には、多額の経費がかかります。区は、こうした財源を確保し、現在から将来にわたる区民の皆さんの世代間の負担の公平化を図るため、公債(特別区債)を発行しています。

各年度末における公債の残高は、下のグラフのとおりです。



●23年度以降については、今後の新規公債発行分を含まない数値です。

